お知らせ

総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

令和８年８月３日
信越総合通信局

「全国型ＣＴＦコンテスト」の開催

～長野会場又はオンラインでご参加いただけます～

総務省では、令和８年１０月３日（土）に、サイバーセキュリティに関する講演、ＣＴＦ（※）を通し、学生や若手社会人のサイバーセキュリティへの関心を高めることを目的として、「全国型ＣＴＦコンテスト」を開催いたします。
信越総合通信局（局長：鈴木 厚志（すずき　あつし））管内では、長野会場（長野県長野市）又はオンラインでご参加いただけます。皆さまのご参加をお待ちしております。

※　ＣＴＦ（Capture The Flag）とは、情報セキュリティの分野で専門知識や技術を駆使して隠された答え（Flag）を見つけ出すクイズ形式の競技です。

１　概要

インターネットが社会経済活動の基盤である現代において、サイバーセキュリティ上の脅威が悪質化、巧妙化しており、サイバーセキュリティに関する社会的ニーズは年々大きくなっています。一方で、労働生産性人口の減少が続いていく中で、サイバーセキュリティ人材の育成、確保は重要な課題となっています。

このコンテストは、ＣＴＦを体験したことがある方だけでなく、初めてＣＴＦを体験する方も安心して参加いただけるものとなっており、ＣＴＦでサイバーセキュリティの基本的な概念や技術を習得していただき、学生の皆さま等にセキュリティ分野への関心を深めていただくことを目的として開催いたします。

２　日時

令和８年１０月３日（土）１２時から１７時３０分まで
（受付開始：１１時３０分）

３　参加方法

会場参加又はオンライン参加をお選びいただけます。

(1)　会場参加の場合
ホテル信濃路　浅間
長野県長野市中御所岡田町１３１－４（ＪＲ長野駅善光寺口から徒歩８分です）

(2)　オンライン参加の場合
Ｚｏｏｍによる参加

４　プログラム（予定）

開会挨拶

第１部

〇サイバーセキュリティに関する講演

概要：昨今話題になっているインシデント事例等を紹介し、サイバー攻撃のトレンドを解説します。

講師：国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
ナショナルサイバートレーニングセンター長　　園田　道夫　氏

第２部

〇ＣＴＦワークショップ

概要：参加者が、サイバーセキュリティに関する謎解き問題に取り組み、獲得した合計点数を競います。終了後、優秀者（全体・各会場）を表彰します。

第３部

〇ＣＴＦ解説

概要：ＣＴＦワークショップで取り組んでいただいた問題について、講師から解説いたします。

講師：国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
ナショナルサイバートレーニングセンター長　　園田　道夫　氏
※時間の都合上、すべての問題を解説することはできません。御了承ください。

５　募集対象、定員

(1)　対象者

サイバーセキュリティに興味がある中学生、高校生、専門学校生、短期大学生、高等専門学校生、大学生、大学院生、若手社会人（３年目程度）の皆さま（ＰＣの基本操作ができる方に限ります。）

(2)　定員

ア　長野会場
先着３０人

イ　オンライン
先着５００人

６　参加費

無料です。（会場までの交通費等は各自ご負担ください）

７　主催

総務省サイバーセキュリティ統括官室、東北総合通信局、関東総合通信局、信越総合通信局、東海総合通信局、北陸総合通信局、近畿総合通信局、中国総合通信局、四国総合通信局、九州総合通信局

８　申込方法

次の申込フォームからお申し込みください。

・申込フォーム：https://www.kiis.or.jp/form/?id=294

・申込期限：令和８年９月 25 日（金）まで

※本イベントの運営に係る事務は一般財団法人 関西情報センター（KIIS）に委託しています。

【別紙１】「全国型ＣＴＦコンテスト（長野会場）」リーフレット

【別紙２】ＣＴＦ説明リーフレット

９　その他

応募に関する個人情報につきましては、今回の開催運営に関する事務手続のみに使用し、終了後は適切に廃棄いたします。また、会場において写真撮影等を実施する場合があり、その際に会場内の参加者が映り込む場合があります。それらは、総務省ホームページ等で掲載される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

連絡先　サイバーセキュリティ室
電話番号　０２６（２３４）９９３８

地域SECUNITY

くらしの中に 総務省

全国型 CTFコンテスト

長野会場

2026.10.3(土)
12:00-17:30

定員

長野会場	30名
東京会場	50名
各地方会場	30名

※オンライン定員450名
※定員に達し次第受付終了します

対象

サイバーセキュリティに興味がある中学生・高校生・高専生・短大生・専門学校生・大学生・大学院生・若手社会人(3年目まで)

※上記以外の方もご参加いただけます

開催会場

長野 ホテル信濃路 浅間
（長野県長野市中御所岡田町131-4／JR長野駅 徒歩8分）

※現地会場に加えてオンライン参加枠もございます
※オンラインでの参加は1人1アカウントです
※講師は東京会場に集まり各会場へ中継します
※申込時に希望会場をご選択ください

《他地域の会場もございます》

東京 AP浜松町 RoomD+E+F
（東京都港区芝公園2丁目4-1芝パークビルB館 B1F／JR浜松町駅 徒歩7分）

仙台 TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口ホール7A
（宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-15／JR仙台駅徒歩3分）

名古屋 TKPガーデンシティPREMIUM名古屋太閤 ホール6A
（愛知県名古屋市中村区太閤1丁目24-11 TKP名古屋ビル6F／JR名古屋駅 徒歩5分）

金沢 TKPガーデンシティPREMIUM金沢駅西口ホール3B
（石川県金沢市広岡2丁目13-33／JR金沢駅徒歩5分）

大阪 AP大阪梅田東 RoomM
（大阪府大阪市北区堂山町3-3 日本生命梅田ビル 5F／地下鉄谷町線東梅田駅 徒歩4分）

宇部 国際ホテル宇部 パール
（山口県宇部市島1丁目7-1／JR宇部新川駅 徒歩5分）

松山 松山大学 文京キャンパス2号館 214教室
（愛媛県松山市文京町4番地2／伊予鉄道市内電車 鉄砲町駅 徒歩5分）

博多 TKPガーデンシティPREMIUM博多駅前 ホール3A
（福岡県福岡市博多区博多駅前4丁目2-1／JR博多駅徒歩3分）

プログラム

開会挨拶
総務省(予定)

第１部 サイバーセキュリティ講演
「サイバー攻撃のトレンド」
昨今話題になっているインシデント事例などを紹介し、サイバー攻撃のトレンドを解説します。

第２部 CTFワークショップ
第1部の内容を踏まえて、参加者によるCTFワークショップを実施します。
PCを使用してサイバーインシデントに関する問題を解き、クイズの合計得点を競います。

第３部 企業および団体講演
※講演がない地域は休憩時間といたします
　詳細はお申し込みフォームにてご確認ください。

第４部 CTF解説
CTFワークショップで出題された問題のうち、質問が多かった問題を一部解説します。
※すべての問題を解説することはできません。ご了承ください。

第５部　優秀者表彰
会場ごとの最優秀者および全体優秀者(1位から3位まで)を表彰します。

講師

園田 道夫 氏

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
ナショナルサイバートレーニングセンター長

中央大学大学院理工学研究科博士（工学）課程修了
2003年よりNPO日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）非常勤研究員
2004年より独立行政法人情報処理推進機構（IPA）非常勤研究員
2004年より経済産業省、IPA主催セキュリティ・キャンプ実行委員・講師等
2007年4月サイバー大学IT総合学部准教授
2007年より白浜サイバー犯罪シンポジウム危機管理コンテスト審査委員
2012年よりSECCON実行委員（事務局長）
2014年4月サイバー大学IT総合学部教授（2017年退官）
2016年　国立研究開発法人情報通信研究機構セキュリティ人材育成研究センター長
2017年　国立研究開発法人情報通信研究機構ナショナルサイバートレーニングセンター長 現在に至る
2018年、情報セキュリティ文化賞表彰
2018年より日本ハッカー協会理事

お申込み

https://www.kiis.or.jp/form/?id=294

右記２次元コードからもアクセスできます。

申込期限:2026年9月25日(金)まで

注意点

※当日はWi-Fi接続可能なノートPCを持参ください。
※PCの推奨スペックについて
（下記スペックは必須ではありません）
・OS要件：Windows・macOS・Linux等
・ブラウザ要件：Chrome・Edge等
・メモリ容量：８GB以上
・問題の中には、Wireshark・画像編集ソフト（GIMP等）等の利用を想定した問題があるため、事前インストールを推奨します。ただし、これらのツールがなくとも回答可能な問題も多くあります。
※時間割、登壇者は急遽変更になる可能性がございます。

主催 総務省サイバーセキュリティ統括官室・
東北総合通信局・関東総合通信局・信越総合通信局・
東海総合通信局・北陸総合通信局・近畿総合通信局・
中国総合通信局・四国総合通信局・九州総合通信局

共催 信越情報通信懇談会・信越サイバーセキュリティ連絡会

お問い合わせ
総務省
サイバーセキュリティ統括官室
03-5253-5749

※本イベントの申込受付及びご案内等は、
請負事業者である一般財団法人関西情報センター（KIIS）が行います
※個人情報については、今回のイベント開催運営に関する事務のみに使用し、イベント終了後は適切に廃棄します

CTF
(Capture The Flag)

1

CTFってなに？

CTF（Capture The Flag）は、サイバーセキュリティのスキルを競うコンテストです。参加者は、さまざまなセキュリティ関連の課題を解決し、隠された「フラグ」を見つけることを目指します。このフラグを見つけることでポイントを獲得し、最終的なスコアを競います。総務省のCTFでは、仲間と協力して課題に取り組むことを楽しむ目的で参加する方も歓迎です。

2

CTFの魅力って？

【実践的な学びの場】
教科書だけでは得られない、リアルなセキュリティ問題を解決する経験を積むことができます。
【チームワーク】
問題を解決するためには、チームメンバーとの協力が不可欠です。異なる視点やスキルを持つ仲間と共に挑戦することで、コミュニケーション能力や協調性を養うことができます。
【達成感】
難解な問題を解き、フラグを見つけたときの喜びは格別です。この達成感は、次の挑戦へのモチベーションとなり、自信を深めることにつながります。

3

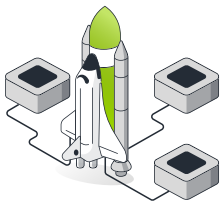
楽しむ気持ちを大切に！

サイバーセキュリティは今後ますます重要になる分野です。
CTFで培ったスキルや経験は、就職活動やキャリア形成において大きなアドバンテージとなるでしょう。
CTFは、楽しく学びながら自分自身を成長させる絶好の機会です。ぜひ参加して、サイバーセキュリティの世界に飛び込んでみてください！

くらしの中に 総務省

KiiS

4



問題を解いてみよう！

暗号・ネットワーク・画像解析・Webなど、複数のカテゴリに分かれた問題を解きます。難易度に応じて各問題ごとの得点が決められています。仲間と相談したり、インターネットでツールの使い方を調べたりしながら解き進めることもできます。
以下は問題の一例です。

Crypto(暗号解読)

与えられた文字列(暗号)を、様々なルールで置き換えること等により復号し、フラグ（答え）を読み取ります。

OSINT(公開情報からの探索)

ヒントをもとに、インターネット等で公開されている情報を検索し、フラグを見つけます。効率的に情報を検索する能力が求められます。

Network（ネットワーク解析）

パケットと呼ばれる、ネットワーク通信の際に流れるデータを解析する等によりフラグを見つけます。